石桜同窓会報

石桜同窓会
盛岡市長田町
岩手高等学校内
印刷山口北州印刷㈱

平成19年度　石桜同窓会

通常総会終わる

平成19年度石桜同窓会通常総会は、10月19日(金)午後6時から盛岡市駅前通のホテルメトロポリタン盛岡本館で開催された。総会にはおよそ60余名が出席、会務報告、決算・予算案が審議され、原案通り可決された。

総会は事務局の川村康二先生（新24回）の司会で進められ、冒頭小枝指同窓会長が登壇して次のように挨拶した。

「本日は皆さんご多用のところ、菊地校長をはじめ仙台から小林先生も来会され厚く御礼いたします。

16年度に村上照五郎前会長（新2回）の提案による賛助会費がスタートしたが、以来本年も約160万を越す金額を頂戴しており、感謝に堪えない。また卒業生名簿は同窓会から290万円という助成金と有志の方の広告のご協力を頂き、7年前と同じ4000円という金額で発行することが出来ました。

また、新5回の下河原元同窓会長と同期の関西在住の秋浜悟史さんの演劇開催について応援するため入場チケットに協力、5月24日開催の常任理事会で了承を得た上で、在校生の分も1,200円のチケットを100枚12万円と新5回生の協力も併せて22万を拠出、赤字にはならずに残金も出すことができた。秋山さんは関東、関西の演劇関係者では知らない人はいない位の人で、兵庫で県立の劇団を日本ではじめて設立し、11年ぐらい会長をし紀の国屋演劇賞も得ており、同窓の高橋克彦氏は勿論、IBC岩手放送の阿部社長も応援してくれました。

また話は変わるが、東京石桜会の会長からも話があって、岩手県の他校でもホームページを立ち上げるところが増えるようだから、インターネットの活用も考えた方がいいのではないかとの話もあり、これも先の同窓会役員会の賛成を得たので、竹本先生や佐々木先生と相談し、準備にかかっております。

この後の懇親会は今年は旧17回と新7回生の方々から幹事を出していただいて進めることになっています。」

総会で小枝指会長の挨拶

議長は事務局一任の声により赤澤征夫君（新9回）を選出

議事は
(一)平成18年度事業報告
(二)平成18年度一般会計・特別会計・クラブ強化育成基金決算報告、監査報告
(三)平成19年度事業計画案審議
(四)平成19年度一般会計・特別会計・クラブ強化育成基金予算案審議
(五)賛助会費について
(六)会員名簿について
(七)その他（ホームページについて、会報発行について）

の順で進行し、事務局川村先生より「ホームページのためにも皆さんから卒業生の情報を沢山頂きたいし、来年の総会は10月24日(金)午後6時からこの会場を予定している」と発表された。

また会長から補足として、毎年文化祭開催についてPTAから中央通側のフェンスに10メートル位の横断幕を宣伝のためほしいので、10万円程寄付してほしいと依頼があったと説明が加えられた。

議長の赤澤征夫君

ご挨拶

石桜同窓会会長　小枝指　博

国内外共にまさに悍しい時代が続き、憂患を覚える昨今でありますが、同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝で各方面にて社会貢献のご活躍をされていることとお慶び申し上げます。日頃は、当同窓会に対し暖かいご理解とご支援を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

母校も石桜精神、国家の要素たるべき人材育成の道場として、文武両道を目指し八十一年、その間、悲喜憂苦するいろいろの事もありましたが、先人が築かれた栄光の伝統を守り、精華を揚げています。当同窓会は会員相互の親睦を図り、併せて母校と関係を密にし、その発展に寄与することが目的です。1万5千人余の会員が、新旧合わせて79回生にも及ぶ同期会がそれぞれ特色ある活動をしています。会員の絆の強きと母校への思いがひしひしと伝わってまいります。我々の今日ある人生の基を育み培ってくれた母校を同じくする仲間の集団です。母校を媒体として出来た素晴らしい人間関係、連帯意識、先人たちが伝統として母校発展と後輩育成に尽くしてきた意志、努力をよりよい姿で後輩に引き継ぐ責務があると思います。

そのためには課題が山積しています。若い会員が同窓会の意義を理解感応して積極的な参加の奨め、内容のある名簿の発刊、会報、ホームページの開設等による的確な情報の発信などがあります。会員名簿はお陰で七年ぶりの発刊をさせていただきました。

昨今、各種の情報手段はパソコンの普及、インターネットの活用等の多様化している現状の中で、ホームページの果たす役割は多大なものがあります。石桜同窓会ホームページの開設は、同窓会活動をより拡大するのみならず、同窓の絆をより強め、私立校独特の連帯感を育むうえでも大切なものであります。母校の発展、名声に寄与することが期待されることから、先の総会において開設の承認をいただき、平成二十年二月の立ち上げに向けて準備中であります。

この事業につきましては、東京石桜会の前会長・近津義一氏（新8回生）の肝煎りにより実現の運びとなりました。東京石桜会に於いても当然のことながらホームページを開設することとしております。

会員の大きなエネルギーとなって創設された賛助会費制度も順調に推移しており、会員各位に心より感謝申し上げます。同窓会活動の原動力であります賛助会費につきましては、今後ともより一層のご協賛を賜りますようお願いいたします。

「石桜同窓会の基盤は、同期会、東京・仙台石桜会をはじめ地区支部、職域、部活動クラブの活動が源であります。『温故知新』伝統を守りながら常に意識改革をして、全会員のご支援ご協力をお願いし、母校・同窓会の発展と会員各位のご繁栄とご活躍を祈念し挨拶とします。

懇親会は新7、17、17回生が幹事で運営

懇親会は新7回の坂本義邦君、17回の二上憲育君等が運営を担当、新10回の菊地治雄校長の「現況報告」で始まった。

「第一は学校への受験希望者が年々増えており、一昨年より昨年とほぼ100人ずつ以上増えています。今の高校3年生は130人位だが北海道大学、東北大学等にも合格、就職内定者も多い。また中学も全国規模の進学模試があるが一万人強の中でトップクラスの生徒もいるし、テニスもインターハイに出場、囲碁、将棋も5段、4段もいるので優勝を狙っている。」と、力強い説明があった。

菊地校長の挨拶

来年の懇親会は新1回（旧18）の野球部で活躍した野村誠君と新8回の田中義男君等が幹事となる。

今回の余興は新13回の斎藤富男君がバンドリーダーをやっているトミーズバンドが出演、女性歌手の他男性も「ダイアナ」などを歌い、川村先生もテナーサックスで久し振りに登場して盛会だった。

トミーズバンドが華やかに演奏

学校長の「学校現況」を熱心に聞く同窓生

平成18年度　クラブ強化育成基金　決算書

収入の部

項目	決算額(円)	備考
繰越金	5,744,517	
利子	2,465	
一般会計より編入	1,000,000	
返戻金	2,270,000	特別会計より
合計	9,016,982	

支出の部

項目	決算額(円)	備考
教育後援会補助	200,000	
部活動褒賞	199,911	褒賞金、表彰楯、プレート、のし袋
特別活動へ編入	2,270,000	
合計	2,669,911	

繰越金　6,347,071円

平成18年度　石櫻同窓会　事業報告

平成18年8月18日	名簿に関する打合会	於	こう弥
	名簿委員長　村井紀之氏		
	総務委員長　明戸均氏		
	広告委員長　菅原一也氏		
平成18年8月24日	常任理事会・監査会	於	きのえね支店
平成18年8月26日	仙台石櫻同窓会総会	於	仙台ガーデンパレス 会長・校長出席
平成18年9月8日	理事会	於	きのえね支店
平成18年9月22日	同窓会総会	於	ホテルメトロポリタン盛岡
平成18年10月14日	東京石櫻同窓のつどい	於	青山ダイヤモンドホール 会長・校長出席
平成18年12月26日	同窓会報発行		
平成19年5月8日	三役会	於	きのえね支店
平成19年5月24日	常任理事会	於	きのえね支店

平成19年度　事業計画

平成19年9月1日	仙台石櫻同窓会総会	於	仙台ガーデンパレス 会長・校長出席
平成19年9月25日	監査会・常任理事会	於	きのえね支店
平成19年10月5日	理事会	於	きのえね支店
平成19年10月19日	同窓会総会	於	ホテルメトロポリタン盛岡
平成19年11月10日	東京石櫻同窓のつどい	於	青山ダイヤモンドホール 会長・校長出席
平成19年12月	同窓会報発行		

○クラブ活動強化のための助成
○優秀成績部活動の顕彰
○横断幕の寄付

平成19年度予算

I　一般会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成18年度予算額
会費	973,000	1,155,000
入会金	695,000	825,000
総会会券代	450,000	350,000
賛助会費	1,000,000	1,000,000
利子	900	20
雑収入	201,733	150,053
繰越金	799,367	1,854,927
合計	4,120,000	5,335,000

支出の部

科目	本年度予算額	平成18年度予算額
会議費	850,000	890,000
石桜会補助費	400,000	400,000
印刷費	600,000	500,000
慶弔費	40,000	30,000
通信費	900,000	900,000
事務費	5,000	5,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	320,000	320,000
特別会計編入	400,000	1,000,000
クラブ強化育成基金	400,000	1,000,000
予備費	145,000	230,000
合計	4,120,000	5,335,000

II　特別会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成18年度予算額
一般会計より編入	400,000	1,000,000
利子	500	10
繰越金	116,160	2,938,748
合計	516,660	3,938,758

支出の部

科目	本年度予算額	平成18年度予算額
名簿印刷	—	2,900,000
合計	0	2,900,000

平成18年度決算報告書

I　一般会計

収入の部

科目	決算額	平成18年度予算額
会費	1,148,000	1,155,000
入会金	820,000	825,000
総会会券代	450,000	350,000
賛助会費	1,578,670	1,000,000
利子	935	20
雑収入	308,150	150,053
名簿	1,164,000	—
繰越金	1,854,927	1,854,927
合計	7,324,682	5,335,000

支出の部

科目	決算額	平成18年度予算額
会議費	866,454	890,000
石桜会補助費	400,000	400,000
印刷費	584,875	500,000
慶弔費	38,011	30,000
通信費	842,870	900,000
事務費	4,275	5,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	564,830	320,000
特別会計編入	2,164,000	1,000,000
クラブ強化育成基金	1,000,000	1,000,000
予備費	0	230,000
合計	6,525,315	5,335,000

II　特別会計

収入の部

科目	決算額	平成18年度予算額
一般会計より編入	2,164,000	1,000,000
利子	1,182	10
繰越金	2,938,748	2,938,748
クラブ強化より編入	2,270,000	—
名簿広告代	1,212,230	—
合計	8,586,160	3,938,758

支出の部

科目	決算額	平成18年度予算額
名簿印刷	6,200,000	2,900,000
返戻金	2,270,000	—
合計	8,470,000	2,900,000

今後は、少子化による生徒数減少に伴い、卒業時の終身会費のみでは同窓会の運営には困難が予想されることからスタートした賛助会員制度であるが、10月19日に行われた平成19年度岩手中高等学校石桜同窓会総会における会計報告は次の通りである。

❖

本年も、この会報とともに、賛助会費振り込み用紙を同封いたしましたので、なにとぞよろしくお願いいたします。

〔石桜同窓会賛助会費制度〕

㈠ 一口2、000円として同窓生から賛助会員を募る。

㈡ 一回の醵金が100口の場合および歴年累積100口に及んだ場合、石桜同窓会賛助フェローとして石桜フェロー賞を贈呈する。

A 毎年末に発行の石桜同窓会報を会員に送付する際、送金振り込み用紙を同封する。

B さまざまな同窓会の会合の機会において、醵金を募る。

石桜フェロー賞受賞者

・個人
藤根俊一（新29回）
加藤惠（新4回）
八重樫金十郎（旧11回）
中村一雄（旧15回）
滝川忠夫（旧13回）
村上照五郎（新2回）
下河原善嗣郎（新5回）
足澤至（旧15回）

・団体
第5期会（新5回）

石桜同窓会 賛助会費

3年目もありがとうございました。
〜今回は1,654,000円となりました〜

〈個人〉　(円)

回	氏名	金額
旧 1	遠藤 貫中	10,000
旧 1	遠藤 貫中	10,000
旧 2	土井尻 正次	10,000
旧 2	浅沼 一	2,000
旧 3	杉本 正善	10,000
旧 4	佐々木 秀夫	10,000
旧 6	鈴木 龍雄	2,000
旧 6	村里 精烝	2,000
旧 8	宮 静孝	2,000
旧 9	軽石 正夫	3,000
旧 10	寺井 常雄	10,000
旧 10	波岡 茂行	6,000
旧 10	佐藤 正吉	4,000
旧 11	大崎 正夫	2,000
旧 12	東根 清藏	4,000
旧 12	大志田 武	4,000
旧 12	千葉 昌二	4,000
旧 12	東根 清藏	4,000
旧 12	東根 清藏	4,000
旧 13	鱒沢 昇	6,000
旧 13	杉江 忠之助	2,000
旧 13	高橋 健太朗	4,000
旧 13	名久井 弥七	10,000
旧 13	赤坂 祐三	8,000
旧 14	菅原 誠郎	2,000
旧 14	藤村 孝志	6,000
旧 14	清水端 金吉	2,000
旧 14	瀬川 修一	6,000
旧 14	藤原 仁左衛門	6,000
旧 14	八柳 秀	10,000
旧 15	菊池 忠夫	2,000
旧 15	似内 和夫	4,000
旧 15	大澤 靖	10,000
旧 16	鷹觜 達衛	2,000
旧 16	浅沼 昭典	2,000
旧 16	黒沼 正三郎	10,000
旧 16	圓子 龍一	6,000
旧 16	猪狩 康三	2,000
旧 16	花舘 英世	10,000
旧 16	佐藤 和照	10,000
旧 16	河村 透	10,000
旧 16	小山田 行男	6,000
旧 16	福士 俊朗	6,000
旧 17	赤坂 等	10,000
旧 17	佐々木 秀勝	4,000
旧 17	吉田 省造	2,000
旧 17	武田 吉次	2,000
旧 17	高橋 孝愛	2,000
旧17後	足澤 實	6,000
旧 18	佐々木 昭徳	2,000
旧 18	西在家 寛	10,000
旧 18	原 章	6,000
旧 18	佐久間 和夫	2,000
旧 18	山口 徳治郎	20,000
旧 18	高宮 昭平	6,000
1	飯高 肇	4,000
1	小笠原 芳雄	10,000
1	佐々木 哲孝	4,000
1	有原 隆司	10,000
1	武田 太良	6,000
1	新藤 茂	4,000
1	野村 誠	2,000
1	浅沼 正夫	2,000
2	村上 照五郎	2,000
2	吉川 孝正	6,000
2	近谷 富夫	4,000
2	細川 豊	5,000
2	下越田 益男	6,000
2	村松 由高	2,000
2	設楽 尹宏	4,000
3	佐々木 幸男	10,000
3	遠畑 勇	2,000
3	藤尾 公一	6,000
3	斎藤 宏	2,000
3	吉田 光政	6,000
3	近藤 義彦	6,000
3	高村 哲郎	10,000
4	荒浜 順一	2,000
4	小山田 良雄	6,000
4	高橋 久男	2,000
4	清見 全弘	6,000
4	滝浦 正雄	2,000
4	照井 武彦	2,000
4	佐々木 敬一	2,000
4	上田 勝彦	2,000
4	大橋 義平	6,000
4	村田 健	2,000
4	熊谷 敬三	6,000
4	井上 正美	2,000
4	井上 正美	4,000
5	村上 昇	10,000
5	藤澤 祐三	6,000
5	泉沢 利之	2,000
5	渡邊 真由美	10,000
5	小田島 康雄	2,000
5	佐々木 美隆	10,000
5	細屋 直躬	10,000
5	中山 利彦	4,000
5	中野 嗣久	10,000
5	角掛 武	2,000
6	小野寺 龍三	10,000
6	藤田 雄平	10,000
6	及川 省治	2,000
6	上斗米 隆夫	2,000
6	平井 治	2,000
6	小川 義一	2,000
6	丹内 禅海	6,000
6	田鎖 康誠	6,000
6	有原 正巳	10,000
6	大坪 光生	10,000
6	藤田 雄平	10,000
7	山本 充夫	26,000
7	坂本 義邦	10,000
7	藤村 隆	2,000
7	熱海 宏信	6,000
7	吉田 榮一	2,000
7	伊藤 廉	6,000
7	牛崎 修治	4,000
7	菊地 純一	2,000
8	後藤 康文	10,000
8	佐藤 勝也	10,000
8	兼平 勘三郎	2,000
8	近津 義一	2,000
8	福井 憲男	2,000
8	小野 泰三	6,000
8	斎藤 栄三	2,000
8	田中 義男	4,000
9	小枝指 博	10,000
9	澤村 廣美	2,000
9	瀬川 義郎	2,000
9	工藤 宰民	2,000
9	小林 泰宏	20,000
9	小笠原 徳雄	2,000
9	山田 耕三	10,000
9	工藤 強一	10,000
9	赤澤 征夫	2,000
9	小枝指 博	10,000
10	佐々木 利之	10,000
10	重茂 佳伸	2,000
10	古舘 正虎	2,000
10	松岡 直彦	10,000
10	芳名記載なし	6,000
10	阿部 信行	2,000
10	石井 隆	10,000
10	阿部 正明	2,000
10	平井 興太郎	10,000
10	小川 宏司	2,000
10	中村 光紀	2,000
10	中村 實	20,000
10	吉田 充孝	6,000
10	平澤 栄一郎	2,000
10	藤原 博	6,000
10	松岡 直彦	2,000
11	横田 英司	10,000
11	岩持 一見	4,000
11	伊藤 千代志	2,000
11	玉山 哲史	2,000
11	猪去 博	2,000
11	小原 幸司	2,000
11	齊藤 裕夫	2,000
12	藤沢 善蔵	6,000
12	沼田 英雄	100,000
12	長澤 佳彦	10,000
12	藤原 孝四郎	4,000
12	吉田 正範	10,000
12	長澤 佳彦	10,000
12	猿舘 宣明	2,000
13	木村 勝一	4,000
13	吉田 明夫	2,000
13	駿河 正雄	2,000
13	兼平 重一郎	2,000
13	吉田 久司	10,000
13	井川 博夫	2,000
13	矢羽々 俊雄	10,000
13	藤田 秀郎	10,000
13	遠藤 健悦	2,000
13	菊地 輝之	2,000
13	菊池 軍次	10,000
13	泉澤 敏夫	2,000
13	小苅米 淳一	6,000
14	森 邦彦	6,000
14	矢澤 俊夫	10,000
14	佐々木 一巳	4,000
14	日澤 昭男	2,000
14	桂 啓文	2,000
14	武藤 正吾	10,000
14	立花 鐵夫	2,000
14	佐々木 武人	2,000
14	中村 栄孝	6,000
15	肥田 秀彦	10,000
15	小田島 隆三	2,000
15	細川 市男	10,000
15	藤倉 健吾	2,000
15	府金 勲雄	6,000
16	工藤 正身	2,000
16	越戸 國雄	4,000
16	見世 久也	6,000
16	立花 勲	6,000
16	八重樫 武雄	2,000
17	高橋 隆夫	2,000
17	雫石 哲正	2,000
17	広瀬 祐一	2,000
17	藤村 昌一	2,000
17	三上 彰	10,000
17	中軽米 久平	6,000
17	小笠原 秀孝	6,000
17	晴山 宏	2,000
17	高橋 隆夫	4,000
17	小笠原 常之	6,000
17	中沢 正博	2,000
17	大吹 則雄	4,000
17	佐藤 孝	2,000
17	伊藤 勢至	2,000
17	村井 孝三	2,000
17	伊藤 勢至	2,000
18	澤口 範雄	10,000
18	斉藤 誠	10,000
18	中村 修爾	2,000
18	井上 利一	2,000
18	吉田 勝次	4,000
18	照井 武彦	2,000
18	越戸 輝雄	4,000
18	兼平 俊朗	2,000
18	村井 紀之	20,000
18	岡本 哲夫	2,000
18	高橋 秀彦	2,000
18	佐々木 明	10,000
19	大和田 克己	2,000
19	難波 保夫	2,000
19	今泉 利雄	2,000
19	山本 武司	2,000
19	中村 一	2,000
19	下河原 道久	2,000
19	鎌田 眞逸	2,000
20	小林 勝雄	2,000
20	金沢 光郎	2,000
20	高橋 雪夫	6,000
21	小笠原 卓	2,000
21	高松 三郎	10,000
21	長澤 正俊	2,000
21	武田 真和	10,000
21	小泉 邦義	4,000
21	早坂 廣志	2,000
21	近藤 健一	2,000
21	越戸 雄次	2,000
21	伊藤 正博	2,000
22	佐藤 秀俊	2,000
23	村上 修	10,000
23	安食 久	2,000
23	佐々木 哲也	6,000
23	千田 幸司	4,000
24	前田 康雄	2,000
24	上村 章夫	10,000
24	村田 昌明	2,000
24	畠山 千春	6,000
24	橋本 英	2,000
25	阿部 勝俊	2,000
25	向井田 隆生	2,000
25	吉田 幸治	2,000
25	藤村 茂信	6,000
25	阿部 久男	2,000
25	本山 一	2,000
25	佐藤 順	10,000
26	志和 宏敏	2,000
26	沼田 陽一	2,000
27	足澤 匡	2,000
30	久慈 竜也	16,000
30	藤澤 透	2,000
30	吉田 直弘	4,000
31	菅原 一也	10,000
31	晴山 祥悦	2,000
34	藤倉 優幸	2,000
34	工藤 優	2,000
35	小山田 勝行	2,000
35	工藤 敏	2,000
35	舘澤 一史	6,000
35	小森 賢司	2,000
36	青木 修治	4,000
37	小笠原 千永	2,000
37	金子 眞也	20,000
40	加茂谷 正俊	2,000
41	東本 茂樹	2,000
41	三浦 善一郎	2,000
43	儀俄 雅生	2,000
45	細谷 圭	2,000
46	小林 仁郎	2,000
47	高橋 大希	6,000
48	柴田 正義	6,000
49	永田 睦	4,000
49	宮崎 力	10,000
52	客本 正太郎	6,000
52	中原 啓士	2,000
52	吉田 桂幸	2,000
53	山本 藤幸	2,000
53	藤澤 和大	2,000
54	小野 真平	2,000
54	奥 良之	2,000
54	菅井 祐輔	2,000
55	久保 陽平	2,000
55	檜山 晃史	2,000
55	岩間 昭造	2,000
56	林 秀峰	2,000
56	熊谷 洋一	2,000
56	庵原 佑	2,000
56	熊谷 幸也	2,000
57	三浦 武尊	2,000
57	奥 直之	2,000
57	古橋 昌憲	2,000
58	高橋 多文	2,000
中学4	工藤 大	2,000
中学4	達増 崔夫	2,000
中学6	和田 博泰	2,000
中学8	池野 正幸	2,000
中学9	長澤 壽八	2,000

〈団体〉

日大石櫻会	30,000

小計	1,654,000
手数料	39,330
合計	1,614,670

(2006/8/1〜2007/10/4)

賛助会費総合計	8,152,240

(〜2007/10/4)

母校ホームページ開設中 同窓会のホームページも開設予定

インターネットによる岩手中学校・岩手高等学校のホームページを開設しています。学校案内や生徒募集要項をはじめ、部活や修学旅行の様子など、情報充実。岩手高等学校の生徒の様子が分かるブログは、ほぼ毎日更新しています。今後もさまざまな情報を発信していきますので、ご期待ください。また、石桜同窓会独自のホームページも開設予定。こちらもご期待ください。

●ホームページアドレス http://www.iwate-jh.ed.jp/

●岩手高等学校ブログアドレス http://blog.livedoor.jp/iwate_hs/

●石桜同窓会ホームページアドレス http://www.sekiou-ob.com/

同窓会ホームページに関するお問い合せはこちらまで info@sekiou-ob.com

また、同窓会HPへの同期会情報、同窓企業広告募集中。詳細はHPをご覧下さい。

同窓会名簿、発売中

今年5月から同窓会名簿の発売を開始しました。すでに申し込まれている方には発送済みです。まだ申し込まれていない方は、会報に同封した振り込み用紙をご利用いただくと便利です。

●同窓会名簿（1冊4000円）／申し込み・問い合わせは同窓会事務局まで

スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影
フォトMORIOKA
池ノ谷 忠正
材木町信用金庫向　TEL (622) 7457

特定建設業
株式会社 下河原組
代表取締役会長 下河原善嗣郎（新5回生）
代表取締役社長 下河原 大希（新36回生）
常務取締役 下河原 宏記（新39回生）
〒020-0403 岩手県盛岡市乙部4地割6番地1
TEL 696-2255(代)
FAX 696-2360

大小御宴会・御商談等に御利用下さい。
御食事処
きのえね支店
盛岡市本町通1丁目17-6
電話 622-9346

不動産仲介業
Links 有限会社リンクス
桑原 伸行（新22回生）
〒020-0173 岩手郡滝沢村滝沢字葉の木沢山405-22
TEL019-694-1611 FAX019-694-1610

いよいよ中学から競争時代！

岩手中・高等学校

◎中高一貫ＥＸコーススタート

岩手中・高は岩手県内唯一の男子教育に誇りをもって維持・発展させていくことはもちろんですが、平成18年からは、時代の要請に応えるべく、「中高一貫ＥＸコース」を新設。母校は生まれ変りつつあります。

岩手中学ＥＸコースの生徒は、ＰＳＡＴ全国模試に挑戦。ＰＳＡＴ全国模試は首都圏難関有名私立中学の生徒が7千人～1万人受験するハイレベルな模擬試験です。この模試の結果でも、ＥＸコース第1期生、第2期生ともに確実に成績が上昇しています。

●中高一貫のメリット

中高で重複学習する科目の内容を精選することができます。また、高校受験の負担がなく、将来の目標を重視した学習ができます。さらに、クラブ活動は6年間の指導で、強い体力や高い技術を育てることができます。

●充実した授業内容

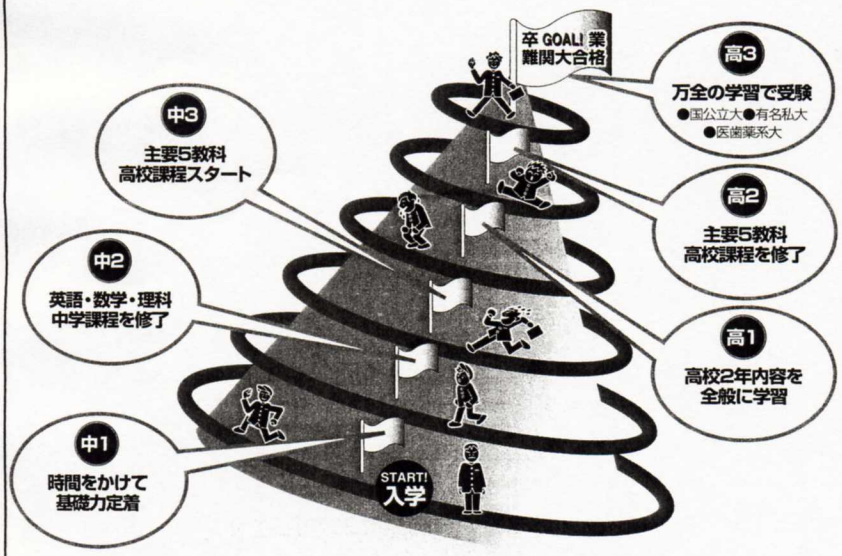
7時間授業（公立中学に比べて、3年間で735時間多い授業）を実施します。英語・数学は標準時間の2倍以上を確保。模擬試験を活用して、学習の定着を確認します。

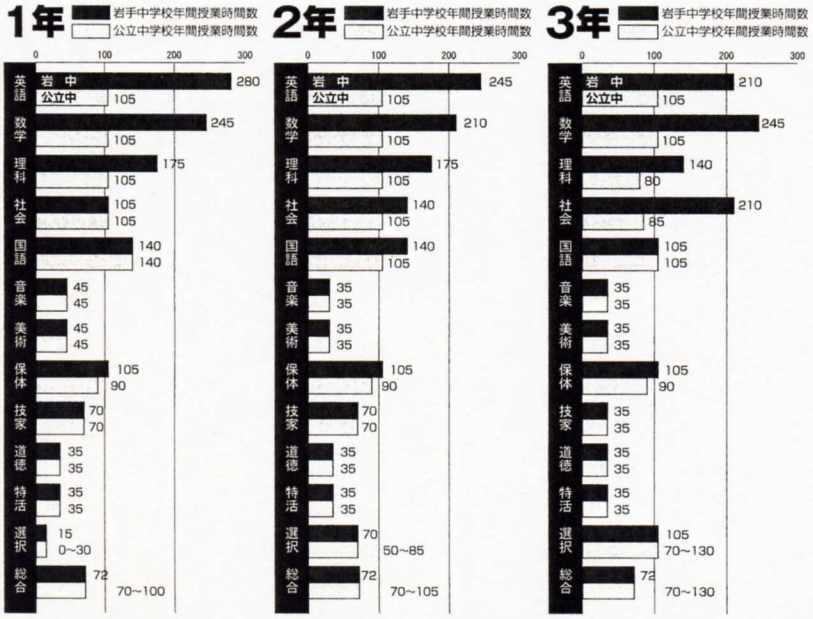
●学年を越えた授業

数学・理科は1年分、早い進行。高校特理コースの上位学年との合同授業が可能です。

「ＥＸ」とは「エクスプレス（急行列車）」の意味です。独自のカリキュラムで、ふつうの子どもたちに無理なく確実に先取り授業を行っています。

中高6年間の授業日数を織り込んだスローガン「現役合格ー300（イチサンマルマル）日作戦」で、医歯薬系を含む国公立理系や難関私大理系への進学を目指しています。





入学特典

●入学金／無料

中学入学時および高校進学時の入学金が全員無料になります。

●授業料／無料

中学3年間の授業料が全員無料です。

●在学成績特待

中学在学時の成績で、高校進学の際、特待生として授業料が免除の特典を受けられます。

●部活動成績特待

部活動で顕著な成績をあげた生徒は、部活動特待生として高校3年間の授業料が無料または減免の特典を受けられます。

入試日程

平成20年度岩手中学校　入学試験要項

●募集定員／中高一貫ＥＸコース20名

●選抜方法／筆記試験・調査書・面接（国語・算数）

●願書受付／平成20年1月22日(火)～1月25日(金)

●試験日・会場／1月26日(土)　本校

●合格発表／1月31日(木)

●入学手続／2月9日(土)

進学の成果益々好調

'07年春の合格大学

国公立大学（北大ほか）・東京６大学（立大ほか）
関西６大学（同志社大ほか）・難関私大（岩手医大ほか）に
続々合格

（詳しくは学校案内、ＨＰをごらん下さい）

新しい岩手高校の今

平成20年、新進学3コースが3学年まで完成

時代の要請に応えて、栄えある歴史を継承しつつ、進取の気概をもって21世紀の高等学校教育を模索する本校では、平成18年から理数教育の強化と国際化を見据えた英語教育に力を入れています。

また、1995年のアメリカで、たった3校だった男子校が2006年には250校以上となった状況が示すように、男女別学の有効性が脳科学の研究の進歩により推奨されています。80有余年にわたり、男子教育の歴史を刻んできた本校の校是「石桜精神」は、いかなる困難にも負けぬ精神力を養います。

普通科の本校は生徒たちをさらに上の学校へ進学させることが当然の責務と考えています。新生・岩手高等学校の「現役合格660日作戦・推薦入試クリア作戦」を今後ともご注目下さい。

それぞれの目標に合わせたコース選択が可能　新進学3コース

個性を伸ばし、それぞれの目標に合わせたコースを選択することで、自己実現が確実になります。

●総合進学「フレキシブル進学コース」

大学・短大・専門学校への進学、公務員・民間就職試験など、多様な希望に対応するコース。グレード別授業や選択科目が充実し、基礎力のアップや応用力の養成をはかります。大学進学では、豊富な指定校推薦枠を活用できます。

●特理「特別理系進学コース」

国公立理系学部、医歯薬系大学への進学を目指すコース。理系科目に重点を置いた特別カリキュラムで、現役合格を目指します。大手予備校の授業を衛生放送で受講し、実力を養成します。長期休暇中は合宿学習、特別講習があります。

●特文「特別文系進学コース」

国公立文系学部、難関私立文系学部を目指すコースです。文系科目に重点を置いた特別カリキュラムで現役合格を目指します。大手予備校の授業を衛生放送で受講し、実力を養成します。長期休暇中は合宿学習、特別講習があります。

※特理と特文は、2年進級時にコースの再選択が可能です。また、特理・特文は1年次、合同クラスになることがあります。

特理・特文コース 660日作戦

高1　220日

- ●朝学習を毎日行います。
- ●年間授業日数は 約200日 です。
- ●大手予備校の衛星放送授業を取り入れ、入試を意識した授業を行います。
- ●放課後講習を毎日行います。
- ●長期休暇中に学習合宿・特別講習を 約20日 間行います。

高2　220日

- ●朝学習を毎日行います。
- ●年間授業日数は 約200日 です。
- ●大手予備校の衛星放送授業を取り入れ、全国レベルの学力をつけます。
- ●放課後講習を毎日行います。
- ●英語力を強化 して英検二級レベルを目指します。
- ●長期休暇中に学習合宿・特別講習を 約20日 間行います。
- ●大学見学会 を行います。

高3　220日

- ●朝学習を毎日行います。
- ●年間授業日数は 約180日 です。
- ●大手予備校の衛星放送授業を取り入れ、実戦に向けた演習を中心に授業を進めます。
- ●特別学習室で個人添削を行います。
- ●さらなる英語力の強化をはかり、実社会で役立つ英語運用能力を身につけます。
- ●長期休暇中の特別学習・センター直前講習・二次試験対策講習を 約40日 間行います。

入学特典

●学業特待生

調査書推薦を受験する者（中学3年次の5教科評定が平均4・5以上で、品行方正な者）、および前期入試・後期入試を受験する者（学力試験の得点が平均85点以上で品行方正な者）は入学金・授業料免除（学年更新）。

また、専願入試成績上位5名には制服を支給。

●クラブ特待生

・クラブ推薦入試を受験する者で、本校在学中、クラブ活動を積極的に続ける意志のある者は入学金免除。

・クラブ推薦入試を受験する者で、クラブ活動の成績が優秀な者（岩手県大会の規模以上の大会で顕著な成績を収めた者、またはその種目で本校顧問が優れた能力を有する者と認めた者）には、3年間の授業料の全学または半額を免除。

※野球部は高野連規定による。

●家族特待生

家族（父、兄）に卒業生や在校生がいる者は、入学金免除。

●在学生奨学金

学業特待以外で入学した者で、学年成績が平均85点以上の者には、規定の奨学金を授与。また、在学中のクラブ活動で優秀な成績を収めた者にも規定の奨学金を授与。

※各種奨学金制度（岩手育英奨学金、岩手県私立高校授業料減免制度、岩手奨学会育英奨学金）

平成19年度　クラブ活動成績

陸上部
第11回みちのく春季陸上一関大会出場
第59回岩手県高等学校総合体育大会盛岡地区予選大会出場
平成19年度春季陸上競技会出場
第59回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技出場
　男子　100m　西川　雄　　第6位（東北大会出場権獲得）
第62回東北高等学校陸上競技大会出場　男子100m　西川　雄
第59回岩手県民体育大会陸上競技盛岡地区予選大会出場
平成19年度岩手県陸上競技選手権大会出場
第58回岩手県新人陸上大会出場
　男子　100m　西川　雄　　第4位（東北大会出場権獲得）

ソフトテニス部
第41回全日本私立高等学校ソフトテニス大会出場
第59回盛岡市民体育大会兼岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技盛岡地区予選
　個人戦　優勝　藤澤雄樹・赤澤和巳組
第59回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技
**　個人　藤澤雄樹・赤澤和巳組　インターハイ出場権獲得**
**　　　　　　　　　　　　　　　東北大会出場権獲得**
第50回東北高等学校ソフトテニス大会出場
第59回岩手県民体育大会ソフトテニス競技
　個人　藤澤雄樹・赤澤和巳組　ベスト8
平成19年度全国高等学校総合体育大会　ソフトテニス競技出場

バスケットボール部
第59回岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技盛岡地区予選県推薦
第59回岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技　第3位
第59回岩手県民体育大会バスケットボール競技盛岡地区予選会　県推薦
第59回岩手県民体育大会バスケットボール競技

バレーボール部
第59回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技盛岡地区予選出場
第59回岩手県民体育大会バレーボール競技盛岡地区予選大会出場
第7回岩手県私立高等学校バレーボール選手権大会出場

ハンドボール部
第59回盛岡市民体育大会出場
第59回岩手県高等学校総合体育大会ハンドボール競技出場

ラグビー部
第59回岩手県高等学校総合体育大会ラグビー競技出場
第59回岩手県民体育大会ラグビー競技少年の部出場
第86回全国高等学校ラグビーフットボール選手権岩手県大会出場二次予選進出
第39回岩手県高等学校新人ラグビーフットボール大会出場（Aブロック昇格）

柔道部
第59回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技盛岡地区予選大会出場
第59回盛岡市民体育大会柔道競技出場
第59回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技出場
　個人90kg級ベスト16　鈴木秀幸
第59回岩手県民体育大会柔道競技盛岡地区予選大会出場
第39回盛岡市中学校総合体育大会柔道競技
　男子個人73kg級第3位　遠藤　匠

剣道部
第59回盛岡市民体育大会剣道競技出場
第59回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技出場
　団体　予選リーグ敗退　　個人　大信田恭輔　ベスト8
第53回東北高等学校剣道選手権大会
　個人　大信田恭輔　出場　一回戦敗退
第59回岩手県民体育大会剣道競技出場　団体二回戦敗退

山岳部
第59回岩手県高等学校総合体育大会登山競技　男子団体優勝（インターハイ出場権獲得）
第59回岩手県民体育大会山岳競技　クライミング　優勝　Aチーム
**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　3位　Cチーム**
**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　4位　Bチーム**
**　　　　　　　　　　　　　　　縦　　走　　優勝　Bチーム**
**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　3位　Aチーム**
**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　6位　Cチーム**
平成19年度岩手県クライミング選手権大会
　少年男子の部　2位小野寺　5位近藤　6位石塚、久保田、平久井
平成19年度岩手県山岳マラソン大会
　少年男子の部　優勝服部　2位阿部　4位石塚　5位近藤　9位菊池
平成19年度全国高等学校総合体育大会登山競技団体準優勝

テニス部
第14回東北春季ジュニアテニス大会
　18歳以下男子シングルス　ベスト8　髙橋圭滋、柳田直人
平成18年度東北私立高校テニス大会　団体優勝
第59回盛岡市民体育大会テニス競技
　男子シングルス　優勝　戸井口一矢　　準優勝　髙橋圭滋
　　　　　　　　　3位　柳田直人
　　　　　　　　　ベスト8　工藤将、品末頼佑
　　　　　　　　　ベスト16　北山隼、鎌田翔、千田慎也
　男子ダブルス　　優勝　　工藤将・髙橋圭滋組
　　　　　　　　　準優勝　柳田直人・戸井口一矢組
　　　　　　　　　ベスト8　品末頼佑・鎌田翔組
第59回岩手県高等学校総合体育大会テニス競技
**　団体優勝　V10（東北大会・インターハイ出場権獲得）**
**　男子シングルス　優勝　　柳田直人東北大会・インターハイ出場権獲得）**
**　　　　　　　　　準優勝　工藤将　　第3位　髙橋圭滋**
　　　　　　　　　ベスト8　戸井口一矢
　　　　　　　　　ベスト16　北山隼、千田慎也、鎌田翔
**　男子ダブルス　　優勝　　柳田直人・戸井口一矢（東北大会・インターハイ出場権獲得）**
**　　　　　　　　　準優勝　工藤将・髙橋圭滋組**
**　　　　　　　　　第3位　鎌田知希・吉田洵組、品末頼佑・鎌田翔組**
　　　　　　　　ベスト8　北山隼・吉田怜央、佐藤真・千田慎也
第28回岩手県ジュニアテニス選手権大会
　18歳以下シングルス　優勝　髙橋圭滋　　準優勝　柳田直人
　　　　　　　　　　　3位　工藤将、戸井口一矢
　　　　　　　　　　　ベスト8　品末頼佑　　ベス16　鎌田知希
　18歳以下ダブルス　　優勝　　柳田直人・髙橋圭滋組
　　　　　　　　　　　準優勝　工藤将・戸井口一矢組
　　　　　　　　　　　第3位　北山隼・吉田怜央組
　16歳以下シングルス　3位　鎌田翔、千田慎也
　　　　　　　　　　　ベスト8　佐藤真、戸井口拓矢
　　　　　　　　　　　ベスト16　中村優太、吉田洵
　16歳以下ダブルス　　準優勝　千田慎也・佐藤真組
　　　　　　　　　　　3位　鎌田翔・吉田洵組
　　　　　　　　　　　ベスト8　戸井口拓矢・竹花国法組
　14歳以下シングルス　優勝　伊藤大輝　　5位　川村卓也
　　　　　　　　　　　6位　吉田皓　　ベスト8　中村公亮
　　　　　　　　　　　ベスト16　三平奨
　14歳以下ダブルス　　優勝　伊藤大輝・立花光組
　　　　　　　　　　　3位　川村卓也・中村公亮組
　　　　　　　　　　　第3位　三平奨・吉田皓
　　　　　　　　　　　ベスト8　菊池燦・田丸頼人
第48回東北高等学校テニス選手権大会　団体ベスト8
　男子シングルス　ベスト8　柳田直人、ベスト16　髙橋圭滋
　男子ダブルス　　ベスト8　柳田直人・戸井口一矢組
岩手県テニス選手権大会2007　男子シングルス3位　柳田直人
　　　　　　　　　　　　　　ベスト8　髙橋圭滋
第59回岩手県民体育大会テニス競技少年の部
**　少年男子シングルス　優勝　　髙橋圭滋**
**　　　　　　　　　　　準優勝　柳田直人**
**　　　　　　　　　　　3位　　品末頼佑**
**　　　　　　　　　　　ベスト8　戸井口一矢、鎌田翔、佐藤真**
**　　　　　　　　　　　ベスト16　鎌田知希、吉田怜央、工藤将、千田慎也、戸井口拓矢**
**　少年男子ダブルス　　優勝　　柳田直人・髙橋圭滋組**
**　　　　　　　　　　　準優勝　戸井口一矢・千田慎也組**
**　　　　　　　　　　　第3位　吉田怜央・鎌田翔組**
　　　　　　　　　　　ベスト8　北山隼・鎌田知希組、工藤将・吉田洵組
平成19年度全国高等学校総合体育大会　テニス競技出場

水泳部
第59回岩手県高等学校総合体育大会水泳競技出場
　1500m自由形7位、400m自由形7位　藤田恭平（東北大会出場権獲得）
平成19年度東北水泳大会出場

サッカークラブ
第59回岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技盛岡地区予選出場
第59回岩手県民体育大会サッカー競技盛岡地区予選出場　→　地区代表
第59回岩手県民体育大会サッカー競技出場
第86回全国高等学校サッカー選手権大会　岩手県予選出場

硬式野球部
第54回春季東北地区高等学校野球岩手県大会盛岡地区予選
　岩手　5－0　盛岡農業（36年ぶり地区代表）
　県大会　　一回戦　　岩手　1－7　高田
第89回全国高等学校野球選手権岩手大会出場

卓球部
第59回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技盛岡地区予選出場
第59回岩手県民体育大会卓球競技盛岡地区予選出場
第52回岩手県高等学校新人大会卓球競技盛岡地区予選会出場

囲碁将棋部
第3回東日本都市対抗将棋大会岩手県予選
　優勝　工藤元　澤口諒允　東日本大会出場権獲得
第29回アマチュア将棋レーティング選手権
　優勝　工藤元　（全国大会出場権獲得）
第3回文部科学大臣杯小中学生囲碁団体戦岩手県予選
　第3位　木村祐太郎、畠山雄太、千葉潔孝
平成19年度岩手県アマチュア将棋竜王戦　第3位　澤口諒允
第29回アマチュア将棋レーティング選手権全国大会
　決勝トーナメント進出　工藤元
第29回岩手県高等学校将棋大会
**　男子団体A級優勝　岩泉毅、工藤元、藤村清秀**
**　　　　　　　　　（5年連続7回目）（全国大会出場権獲得）**
平成19年度岩手県アマチュア将棋名人戦
　準優勝　澤口諒允　ベスト8　岩泉毅　西田明斗
第30回全国高等学校囲碁選手権岩手県大会　男子団体ベスト8
平成19年度全国中学生選抜将棋選手権岩手県予選大会
**　準優勝　澤口諒允　　第3位　西田明斗　田岡拓也**
第3回文部科学大臣杯小中学生将棋団体戦岩手県予選
　優勝　　澤口諒允、西田明斗、田岡拓也（東日本大会出場権獲得）
　準優勝　田口啓太、川村啓彰、平賀太竣
　第3位　川村翔平、岡本拓郎、皆川泰亮
少年少女囲碁大会岩手県予選　第3位　木村祐太郎　　第4位　畠山雄太
平成19年度東北六県将棋大会
　副将戦優勝　岩泉毅（団体岩手県チーム準優勝）
第20回全国高校将棋竜王戦岩手県予選
**　準優勝　工藤元**
**　第3位　細川浩貴**
　第4位　藤村清秀
第31回全国高等学校総合文化祭（島根大会）将棋部門　男子団体第三位

吹奏楽部
第45回全日本吹奏楽コンクール盛岡地区大会金賞（県大会出場権獲得）
第45回全日本吹奏楽コンクール岩手県大会銀賞

写真部
第30回岩手県高等学校総合文化祭・第26回高校写真展参加

絵画部
第31回全国高等学校総合文化祭（島根大会）美術工芸立体部門参加
**　成井昭悟**

平成20年度　生徒募集概要

選抜種類（専願／併願）		調査書推薦入試（併願）	クラブ推薦入試（専願）	前期入試（専願）	前期入試（併願）	後期入試（併願）	二期入試（専願）若干名
募集コース　■特理コース　国公立理系学部、医歯薬系大学進学を目指すコースです。【30名】	出願資格	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子			平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子
	出願条件	中学3年次の5教科評定平均が3.8以上で、中学校長が推薦する生徒			なし（調査書推薦入試の合否にかかわらず再受験できます。）	なし（調査書推薦入試および前期入試の合否にかかわらず再受験できます。）	合格後は入学が確約できる生徒　なお、本校の他試験を既に受験した者は再受験を認めません。
■特文コース　国公立文系学部、難関私大文系学部を目指すコースです。【30名】	出願資格	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子			平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子
	出願条件	中学3年次の5教科評定平均が3.8以上で、中学校長が推薦する生徒			なし（調査書推薦入試の合否にかかわらず再受験できます）	なし（調査書推薦入試および前期入試の合否にかかわらず再受験できます。）	合格後は入学が確約できる生徒　なお、本校の他試験を既に受験した者は再受験を認めません。
■総合進学コース　大学・短大・専門学校への進学、公務員・民間就職試験など、多様な進路に対応するコースです。【140名】	出願資格		平成20年3月卒業見込みで、在学中の県大会規模以上の大会で顕著な成績を収めた男子、またはその種目で本校顧問が、優れた能力を有すると認めた男子	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子	平成19年3月卒業または平成20年3月卒業見込みの男子
	出願条件		本校顧問が中学校顧問を通して本人に連絡を取り、その上で中学校長が推薦する生徒　中学2、3年次の全教科評定に1がない生徒	本校を第一志望とし、合格後は入学が確約できる生徒	なし（調査書推薦入試の合否にかかわらず再受験できます。）	なし（調査書推薦入試および前期入試の合否にかかわらず再受験できます。）	合格後は入学が確約できる生徒　なお、本校の他試験を既に受験した者は再受験を認めません。
選抜方法		・調査書　・中学校長推薦書	・調査書　・中学校長推薦書　・面接	・学力試験（国・数・社・英・理）※高得点3教科の合計点　・調査書　・面接	・学力試験（国・数・社・英・理）　・調査書	・学力試験（国・数・社・英・理）　・調査書	・作文　・調査書　・面接
出願期間		1月8日(火)　午前9時～午後4時	1月11日(金)～1月12日(土)　午前9時～午後4時			1月22日(火)～1月25日(金)　午前9時～午後4時	3月21日(金)　午前9時～午後4時
試験日		課さない	1月17日(木)　本校会場			1月28日(月)　本校会場	3月24日(月)　本校会場
合格発表		1月10日(木)　合格通知書は、中学校長を通して本人にお渡しします。	1月21日(月)　午後4時本校校舎に掲示・ホームページ発表（合格通知書は、中学校長を通して本人にお渡しします。）			1月31日(木)	3月25日(火)　合否結果は本人と中学校に直接通知します。

調査書推薦入試・前期（併願）入試は公立高校発表後の学納金納付となります。

		調査書推薦入試（併願）	クラブ推薦入試（専願）	前期入試（専願）	前期入試（併願）	後期入試（併願）	二期入試（専願）
受験料		10,000円（複数受験する場合でも一回だけの納入です。）					
入学手続	公立発表前		2/1(金)～2/6(水)　入学金免除	2/1(金)～2/6(水)　110,000円		2/1(金)～2/6(水)　60,000円（分納）	
	公立発表後	3/19(水)～3/24(月)　110,000円			3/19(水)～3/24(月)　110,000円	3/19(水)～3/24(月)　50,000円（分納）	3/27(木)　110,000円
優遇制度	学業特待	中学3年次の5教科評定平均が4.5以上で、品行方正な者は、入学金・授業料（学年更新）を免除します。	なし	学力試験の得点平均が85点以上で、品行方正な者は、入学金・授業料（学年更新）を免除します。なお、前期入試専願合格者の上位5名へ制服を支給します。			なし
	クラブ特待	なし	◆入学金全額免除　◆クラブ活動の成績が優秀な者は、選考の上、3年間の授業料を全額または半額免除します。（ただし、野球部は高野連規定による）	なし			
	家族特待	家族（父・兄）に卒業生や在校生がいる入学者は入学金を免除します。（他の優遇制度で入学金免除となった者を除く）					なし
	在学生奨学金	◆本校入学後に学業優秀、品行方正で、毎学年末平均85点以上の成績を収めた者は、選考の上、規定の奨学金を授与します。◆本校入学後にクラブ活動で、東北大会、全国大会において優秀な成績を収めた者は、毎学年末選考の上、規定の奨学金を授与します。					

45年続けて越戸賞を表彰

越戸國雄さん（新16回）

1930年代を中心に活躍し、日本水泳界で「幻の（東京）五輪スイマー」と称された盛岡市出身の水泳選手・越戸優一さん。40年代に開催予定だったアジア初の夏季オリンピックでメダルが期待されながらも、夢半ばで戦場に散ったスイマーだ。

甥である越戸國雄さんは、叔父の功績を語り継ぎ、「第二の越戸優一」輩出を願って越戸賞を創設。45年前から表彰を続けている。

越戸賞は、毎夏に行われる岩手県高校新人大会の水泳競技の400メートル自由形男女優勝者に贈られる。今年は8月31日と9月1日、西和賀町湯本屋内プールで表彰が行われた。國雄さんは、自身も日本体育協会公認の水泳コーチとして、後進の指導にあたっている。

本校縁の旧職員が岩手県芸術選奨を受賞

職員として、昭和40年から平成にかけて、岩手高等学校の国語を担当した小畑勝行先生が、文芸・評論「戦後文学を読む」で、岩手県教育委員会2006年度岩手県芸術選奨を受賞。今後の活動にも大いに期待が高まります。

第24回生・檜山直樹氏『あなたの元気が日本の元気！〜心の経営・会社の経営〜』発刊

税理士檜山直樹事務所の創立20周年を記念して、檜山直樹さん（第24回）が『あなたの元気が日本の元気！〜心の経営・会社の経営〜（発行　ぎょうせい、定価1，900円、税別）』を初出版。豊富な経験に裏打ちされたデータで正しい経営を分かりやすく教える、経営論の本です。最寄りの書店でお求めください。

『お元気ですか？四六会報　急須』発刊10号

新制岩手中学第4回・新制岩手高等学校第6回卒業生を略して「四六会」と呼んでいます。機関誌として『急須』を発行して、今年で10号になりました。

四六会員が原稿やカンパを寄せてくれること、それに編集者が健康なお蔭で続けることができました。それぞれが気ままに書いた記事を掲載した会報を、ご覧になっていただければ幸いです。

■問い合わせ・申し込み
四六会事務局／
〒020-0401　盛岡市手代森9-13-5　北舘　賢

同期会

●九桜会　同期会

3月3日、市内「ホテルエース」にて「古希を祝う集い」として同期会を開催し、48名が参加。来賓として、菊地校長、足澤至先生ご夫妻、池口先生、吉見正信氏が出席しました。

青山皓一氏や池澤義顕氏をはじめ、初参加の宇土澤廣司氏や小枝指博同窓会長ら、多数の参加者が第1部の総会はもちろん、第2部の「古希を祝う会（同期会）」で旧交を温めた。古希を祝う会では、恩師紹介や恩師代表挨拶もあり、母校で過ごした時代が懐かしく感じられました。

●岩手高校新19回生還暦を祝う会

平成19年11月18日つなぎ温泉ホテル大観で早めの還暦のお祝いをかねて恒例の新19回生（昭和42年卒業）の同窓会を開催しました。

遠くは横浜から卒業以来初めての参加という同級生を含め21名が集まりました。岩手山神社の宮司笹田武彦様による神事にひきつづき1人ずつ赤い頭巾とちゃんちゃんこを着て記念撮影、懇親会では青森からのエンターテナーあすなろ会の皆さんの踊りで大いに盛り上がりました。最後は高校時代を思い出しながら校歌を歌い、これからもさらに元気で活躍する事を祈念し再会を誓い合いました。

同級生の高橋克彦氏からは「楽しみはまだまだ先にある」と還暦のお祝いにふさわしい色紙をいただき思い出深い同窓会になりました。

（代表幹事　難波保夫）

応援歌 歌詞問題・再考

歌詞問題は昨年の現校長、西在家元校長、小枝指同窓会長の鼎談をもって一応の締めくくりと思っていたが、原作詞者の吉田栄一君（新7回）から10月に再来信があったので掲載をする。

左の年表的記録は将来のためのものとして、現時点で掲げておきたい。いずれにしても、他校でも歌の誤謬は甚だあり得ることなので、後年に備えたい。

ひと言の記

昨年の同窓会報に第四応援歌のことが報じられていました。西在家先生には大変申し訳なく思っていますが、昭和52年にいただいた石桜五十年史刊行委員会からの往復葉書には「五十年史資料として未詳の部分があるので尋ねたい、君の作詞かどうか、作詞の時期・動機等についても知らせてほしい」と書かれていました。葉書の往信分は保存してあったので、この時のことは大体覚えています。

返信には、高二の時の歌詞募集に応募したのが動機といえば動機であると書いたと思います。ただ昼夜にわたる職場の繁忙期にあたり、大分経ってから投函したと記憶していますが、歌詞を書いた覚えはないのです。今、思えば「未詳の部分」というのは歌詞のことと受け止めていたかどうかも疑問です。歌詞の記憶はなくなっていても、メロディには苦しい時期には何度も癒されたことを思い出しています。

その時から二十五年を経て、平成14年に仙台在住の横田さん（11回）からの連絡で歌詞の記憶の困難な掘り起こしが始まり、三カ月ほど後に、東京在住の近津さん（8回）が、当時のものと思われるガリ版刷りを発見し、解決しました。両君のご厚情に改めて感謝します。

それから数カ月後、古いアルバムを整理中、新聞製作にでも使ったと思われる校舎全景の写真を眺めているうちに、歌詞を裏書きしてあることに気付いたのでした。ガリ版刷りのものと一部に漢字・仮名の違いはあるものの、全体で一致しました。

横田さんからは、西在家先生の歌詞についての疑問を聞いていました。去年の同窓会報では「『栄光の気に溢れ』については審査員ではないが、初めての公募に甚だ関心をもっていた西在家先生の記憶では全く逆。永劫ではなく栄光の方が判り易いので〝栄光〟ではどうかという話だったと思うとのこと。審査員は山中校長、遠藤貫中先生、国語の武田先生と及川先生、足沢先生だった。そこで私は審査員だった足沢先生にも聞きましたが、自分が審査員だったという記憶もないとのことでした」と報じています。

私の応募した歌詞は、当選後に国語の武田彩吉先生の指導で次の通りに変わりました。

（前）あゝ榮光の気に満ちて壮人なるかな石櫻は
（後）あゝ永劫の気に溢れ旺人なるかな石櫻は

作詞した時の気持ちからすれば（前）なのですが、（後）の方がやはり堂々として明るい感じがあり、しかも格調の高い応援歌らしさも感じられ、当時も今も満足しております。ただし、石割桜は高二少年の身にとっては郷土の誉れ高い桜として神秘的なものでしたので、変更は少しばかり不満を感じたという気がします。その後は、そんなことも忘れてしまいました。

この歌を歌うたび、在りし日の武田先生の面影をありありと思い浮かべ、懐かしい限りです。

昭和28年の私の日記には、歌詞選考者の先生方の名前を挙げています。事後に出席の確認をせず、裏付けがなかったかもしれません。「歌詞選考場所の会議室を清掃し整頓までして備え、選考一時間余に及んで自詞が採用入選する」などと、当時の行動まで書いているだけに、残念に思っています。歌詞の発表は、その日から十日後の7月6日号篭に校内放送され、その日までに上級生の佐川先輩（6回）が作曲を仕上げ、ここに初めて生徒の手による戦後最初の応援歌が誕生しました。

（吉田榮一・新7回）

受難の歌詞50年の軌跡

年代	事柄	（備考）
昭和13年	第三応援歌誕生 北住敏夫作詞	
昭和23年		応援団改組
昭和25年		応援団復活
昭和30年		野球部　甲子園出場
昭和51年	原作者より指摘。	石桜50年史
昭和62年	「陽明」→「奮冥」に 「正気」→「正義」と表記	素年表作成時これ以前の史料、欠落 ※史料混在、未検証
平成7年	「正義」→「正気」に戻る	（生徒手帳） ※史料混在、未検証
平成13年	秋、CD作成	
平成14年6月	横田英司「歌詞縁起考」発表	※史料混在、未検証
平成15年10月	対策会議	菊地、足沢、村上、西在家
平成16年9月	歌詞懇結成	12月アンケート実施
平成17年4月	アンケート結果、学校へ提出	報告書、会報に載る
cf.	聖人勝（まかせ）心 君子行正気	衆人勝（まかせる）欲 小人行邪気 淮南子

村上昭夫詩集朗読会、開かる

詩人・村上昭夫（旧15回）の詩集『動物哀歌』の朗読会が10月20日、仙台市仙台文学館エントランスロビーで催された。

この朗読会は、土井晩翠忌記念行事の一環として、仙台文学館・晩翠顕彰会主催で開かれたものである。

朗読は、俳優の渡部さとる氏、ピアノ伴奏は音楽家の榊原光裕氏により行われ、多くの聴衆の感動を呼んだ。

村上昭夫氏は昭和20年、岩中卒業後、渡満。その年の敗戦に遭い、ソ連により抑留。21年、帰国後は郵政事務官になるも結核を発症。以後、闘病の傍ら、詩作を続けた。岩手日報詩壇への投稿をきっかけに、村野四郎氏との交流師事が始まり、昭和42年に詩集『動物哀歌』を発刊。同年、第8回「晩翠賞」受賞。43年「H氏賞」受賞。同年10月逝去（享年41歳）され、滝沢村の墓苑に眠られている。

（横田英司・新11回）

支部だより

●日本大学校友会
岩手県支部石桜分会

昨年12月7日、18時30分より市内「初駒」にて、平成18年度日本大学校友会岩手県支部石桜分会が開催された。特別顧問の小枝指博石桜同窓会長をはじめ、岩手高校校長の菊地治雄先生や会長の田鎖康誠さんら、17名が参加。岩手県議会議員の高橋比奈子さんも招かれた。

●盛岡市役所石桜会

2月21日、市内のホテルニューカリーナにて、盛岡市役所石桜会総会が行われた。参加者は20名。会長には商工観光部参事の佐々木幹郎さん、副会長には下水道部次長の金子均さん、監査には区画整理課の笹田裕一さん、幹事長には建築住宅課の齊藤喜範さんが選ばれた。

●雫石石桜会

5月18日、雫石公民館にて、しばらく中断していた会の総会を開催。

総会では、事業報告と経過報告の後、事業計画と予算、役員改選が行われ、顧問・吉田耕三氏（14回）を始めとした体制が決定した。

総会後、懇親会が行われ、和気あいあいとした一時を過ごすこととなった。

（事務局　藤村政彦・新16回）

●仙台石桜同窓会

第11回仙台石桜同窓会は、去る9月1日午後6時より仙台市宮城野区にある「仙台ガーデンパレス」において、15名の参加で開催された。今回は菊地治雄校長、本部の小枝指博会長にご出席いただいた。

小林陵二会長の開会挨拶、菊地校長による母校各部の活動報告等、近況が話された。この後、事務局より会務及び会計報告、監査役より会計監査報告があり、次に役員改正年度に当たることから、改選の審議が行われ、現役員全員の留任が決定した。その後、参加全員で記念撮影し、懇親会へと移った。

遠来の小枝指博会長の挨拶・乾杯に始まり、今日初参加の村上説夫氏（新18回）、松崎安邦氏（新20回）らによる自己紹介等が花を添えた。

宴たけなわの頃、恒例の校歌斉唱がなされ、阿部金蔵副会長の中締めをもって来年の再会を誓い、8時20分にお開きとなった。

（横田英司・新11回）

●東京石桜同窓会のつどい

秋も深まりつつある11月10日、青山ダイヤモンドホールにて、平成19年度「東京石桜同窓会のつどい」（第25回総会）を開催しました。当日は時雨降る足下の悪い中、来賓として三田理事長、菊地校長、川村、東両先生及び小枝指石桜同窓会長の出席を頂き、総勢50余名で盛大に楽しい一時を過ごしました。

第一部の講演会では、神奈川大学人間科学部の5日市享児教授（新11回生）が「スポーツ界を覗く」というテーマで、日本体育協会常務理事、アジア体操連合事務局長等、在職時の経験を踏まえたスポーツ界の内情を語って頂きました。

総会では、近津会長より25年前本会発足の経緯説明において、山中元校長指導の「継続と自主独立」の精神で今日まで運営されてきたというエピソードが紹介されました。

その後で会長、副会長の役員改選について、次期会長に菅野現副会長（新13回）の昇任推薦と、各副会長の人事選任案の説明がありました。ついで次期会長と副会長の紹介があり、出席者一同の賛同をもって承認されました。

ご来賓の挨拶では三田理事長より、今後の発展に対する激励の言葉と運用面のアドバイスを、菊地校長からは母校の活躍状況のご報告をいただき、何よりの母校からのお土産を頂きました。小枝指同窓会長には、ホームページ作成において、当会ほか各支部がリンクできる様に作成することを強く発言され、今後、会の運用面での進歩が期待されるところです。

旧17回生・佐々木先輩の乾杯で宴会に入り、バックに流れていた応援歌のCDも聞こえない位の賑わいでした。今回、19年卒の細田君の出席もあり、今後若い世代の出席増に期待しています。

最後は久々に一同で、ラグビー応援歌と校歌を斉唱し、新10回生・須貝先輩の万歳三唱で中締めとなりました。最後に役員卒業となる近津会長と鎌田副会長に、多大な功績に対し、花束と記念品贈呈にて感謝の意を表しました。

今後、当会は新体制のもと更に発展すべく頑張って参りますので、会員の皆様には会の活性化にご協力を賜りたく、宜しくお願い致します。

同窓会についての問合せは東京石桜同窓会事務局（㈱三田商店東京支店内電話03・3666・3336宇土澤　迄）

（前関邦明・新23回）

クラブOB会

●卓球部OB会

岩手高校卓球部球友会は、毎年1月3日の新年会と、6月末の還暦祝いが恒例となっています。参加者は50歳以上の20名程度ですが、いつも和気あいあいとした雰囲気で楽しい宴です。今年も1月3日に19名が参加して、来賓に鈴木勝彦先生をお招きし、新年会を行いました。

格差社会が問題になっていますが、日本の高校卓球界も格差が広がり、東北6県だけをみても青森山田高校や仙台育英高校など、私立の高校が経済力にものをいわせて、全国大会でもトップレベルの戦いを繰り広げています。岩手高校卓球部が、今から40年ほど前に全国大会で活躍したことは、今や夢のまた夢のようです。

今年7月、後輩の下川原君、坊屋舗俊二君とともに50歳以上の部の団体戦を組み、岡山県で行われた全国大会に出場して、久しぶりに1勝をあげて喜びました。

今後の球友会の活動は年2回の行事とともに、現役生に用具などの後方支援を積極的に行っていきたいと思っております。

（球友会会長　松村　諭・新20回）

●第九回石桜バレーボール会の総会

石桜バレーボール会（OB会）の総会は、11月17日（土）に、市内のホテル東日本で開催された。

まず活動概況ではコーチの派遣状況、役員の選任、総会の持ち方などを報告。現役の活動状況では今年の県民体地区予選で盛岡商高に勝利し、他の高校にも惜敗していることから、県大会に出場可能の希望が出ていることを報告。

また、二年に一回の会費・寄付金拠出状況では、八十六人から会費が拠出され、三十六人から寄付金があった状況を報告した。

第一号議案の平成十八年度会費等の決算、第二号議案の平成十九年度活動計画及び収支予算では、異議なしの賛同を得た。

また、当会は来年設立十周年になることから、総会には多くの会員が出席されるよう、今から心掛けるようにするべき。そのためには現役が奮起し、県大会に出場することが重要であるとの注文も出た。

懇親会に席を移し和気あいあい裡に、昔のバレー談義に華が咲きお開きとなった。

（齋藤裕夫・新11回）

●柔桜会（柔道部OB会）
武道とダンスの必修化

文部科学省の諮問機関「中央教育審議会」の専門部会は中学1・2年生の男女を対象に保健体育の授業で、現在は選択制の武道とダンスを必修化することを大筋で了承した。今年度内に改定される予定の学習指導要領に盛り込む見通しで、早ければ平成23年度にも実施される。武道については日本の伝統文化に触れる機会を広げるねらいがある。との報道に基き、原稿締め切り間際27日に、佐藤正俊先生（市立武道館）松田圭二先生と個々に面接して、指導者としての考え方と、巷の賛否の声あること等論及する。

ちなみに現在の部員　中学1年生0名2年生2名3年生0名　高校1年生5名2年生3名3年生5名、計15名。丁度試験中であり稽古はなしで溌剌たる若さの活力を心の糧にすることができず残念であった。11月23日、富士大学旗争奪第30回全国高校柔道選手権県大会団体勝抜き戦（5人）団体一回戦　岩手　4人残　準々決勝　盛岡盛岡市立　4人残　岩手　盛岡中央が優勝したが健闘善戦した（松田先生談）。

猶、故赤坂俊夫前柔桜会長の後任にとの強い要請に応じて暫定的にと承知し、今日現在まで業績皆無、無能、会長の席を汚しているところであり申し訳ないと思っております。加えて老齢、体調不良のゆえ会長を辞任致し度き旨と、来年度気候がよい時期に、総会を開催することを、佐藤正俊先生と確約致して参りました。

其の節には柔桜会柔道部各位の御参集を御願い申し上げる次第で御座居ます。

（東根清蔵・旧12回）

石桜バレーボール会